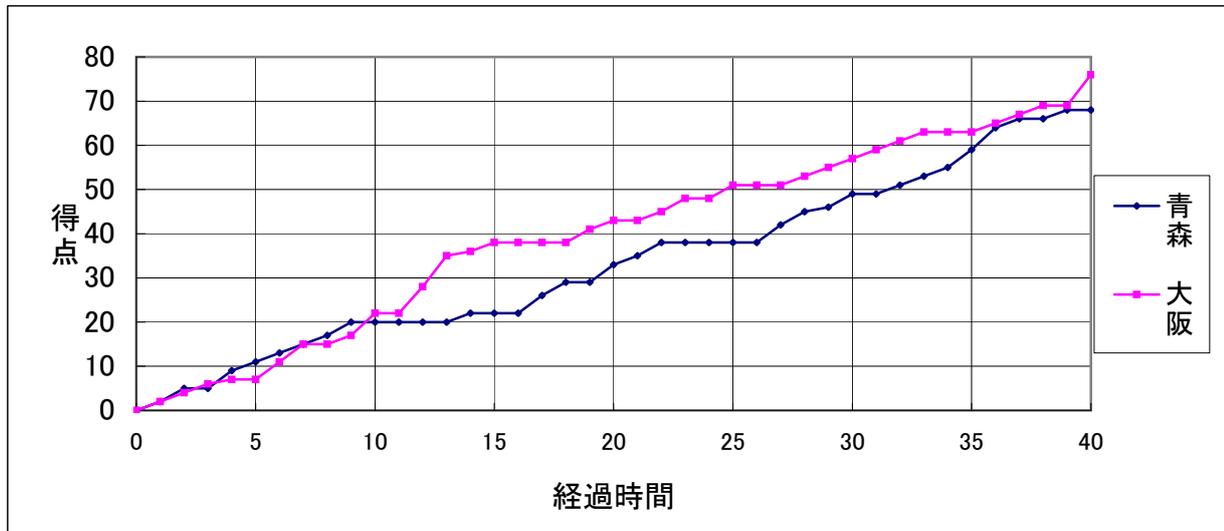


大会名	チャレンジ！おおいた国体 第63回国民体育大会 バスケットボール競技会	E2	11:45	成年男子1回戦																
		青森 68 ●	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>21</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>	20	—	22	13	—	21	16	—	14	19	—	19	—			76 ○	大阪
		20	—	22																
13	—	21																		
16	—	14																		
19	—	19																		
—																				
期日	2008年（平成20年）9月28日（日）																			
会場	大分鶴崎高校多目的競技場																			

主審 津田 博夫

副審 篠田 雅智



青森

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	古川 和寿	0	0	0	0	0
○ 5	對馬 寛仁	19	1	8	0	4
6	大久保 康司	7	1	2	0	3
○ 7	川浪 孝允	7	0	1	5	1
8	工藤 悠大	0	0	0	0	3
○ 9	中村 喜貴	16	2	3	4	1
○ 10	佐藤 寿之	16	0	7	2	5
11	齊藤 樹信	0	0	0	0	0
○ 12	北谷 稔行	3	1	0	0	4
13	蛭子 哲	0	0	0	0	0
14	白幡 祐司	0	0	0	0	2
15						
16						
17						
18						
コーチ	下山 豊彦	/	/	/	/	/
	合計	68	5	21	11	/

大阪

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	中島 英文	4	0	2	0	2
○ 5	鳥 和成	18	0	4	10	3
6	成川 耕平	10	1	1	5	3
7	荒川 裕介	4	0	1	2	1
○ 8	守屋 卓哉	3	0	0	3	1
○ 9	遠藤 遼	19	3	5	0	1
10	西勝 光希	0	0	0	0	0
○ 11	立石 和也	0	0	0	0	1
12	熊谷 弘基	0	0	0	0	0
○ 13	根来 新之助	10	0	5	0	4
14	竹内 勇貴	8	2	1	0	1
15						
16						
17						
18						
コーチ	高橋 涉	/	/	/	/	/
	合計	76	6	19	20	/

○はスターター(◎はキャプテン) 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

1Q、青森、大阪、両者ともにペースがつかめず、ほぼ互角の試合展開が続く。両者ともハーフのマンツーマンであるが、ファウルが多く、残り5分を待たずして両チームともチームファウルが5本となる。その後も一退の攻防が続き、結局大阪の2点リードで終了した。

2Q、大阪は#9、#13の連続3Pで攻勢にでる。3分が経過せぬうちに得点差が12点となる。青森はタイムアウトをとるが、大阪の勢いは止まらない。16点差がついたところで、大阪もシュートが決まらなくなり、タイムアウトをとる。青森は#9の3p、#6の終了直前のシュートなどで、10点差まで追上げた。

3Q、青森は#5の連続シュートで5点差まで詰めるが、大阪もふんばり10点差を再度キープ。その後は再び互角の展開になったが、残り3分で青森#6の3Pがきまり、大阪タイムアウト。その後、大阪は#9の得点などで持ち直したが、青森も#9が終了直前に3pを決め、8点差で終わった。

4Q、リードしている大阪は落ち着いてプレイし、ゆっくりと攻める。青森は早い攻めで得点を狙う。慎重になりすぎてか、大阪の得点が止まる。逆に青森は#10のリバウンドシュートなどで波に乗り、残り4分、ついに逆転する。そして、終盤、1点差を争うゲームは再度逆転した大阪の勝利で終了した。

記載者	竹本 修 (所属) 大分県バスケットボール協会
-----	-------------------------